



トレっこルーム

美浦市

サロン開設年月日	平成20年6月13日
開催日及び開催頻度	①週1回 金曜日 (10:00~13:00) ②児童館 (10:00~16:00)
開催拠点	①JRAトレセン 厚生会館体育館 (トレっこルーム) ②児童館
代表者氏名	荒井 美幸
1回の参加人数	平均50人
1回の運営スタッフ数	平均3人
参加費	1,200円(年間)



事業名
トレっこルーム活性化事業

目的(趣旨)

- 子育て支援子育て広場を開催し、安全・安心・快適に、乳児から就学前の子どもたちと保護者が集える場所を提供。村の広場とも関わり、村の広場へのかけ橋にもなる場所とする。子育ての孤立防止。



対象者や具体的内容

- トレっこルームは広い体育館を使用するので、大型遊具や三輪車などベビー休憩スペースから様々な月齢の子どもが遊べる環境を作り見守っています。
- ファミリーサポート受け入れも行っています。

財源の確保

- 会員の年会費とバザーやフリーマーケットの売り上げ、アルミ缶の資源回収活動、美浦村からの補助金。



生活課題への対応

- トレセンという特殊な環境で、村広場へは遠く車もなくいけないという人も多く、歩いて行けるところに子ども（就学前の小さな子）が思いっきり遊べる場所が必要と思い開設しました。仕事から、父親が昼、家にいて寝ている事が多く、行き場所が無く困っている人が多かった。

継続させるための工夫

- トレセンの出生率も高く、兄弟での参加も多い。常連者だけでなく村の広場でのPR、保健センターなどでのPR、普段の活動を写真で撮影したり、他にないイベントで新しく参加する人を増やしています。また、イベントごとでアンケートを実施し、より向上を目指しています。

サロンのPRポイント

- 役員は代表含めて4人しかいませんが、参加する誰もが運営に協力し皆で作るトレっこルームになっています。毎年100組を超える登録者があり（開設2年）、毎回30組近い親子でにぎわっています。お盆や祝日、他臨時開催し、他の広場など、休みの日でも利用できます。
- トレっこ連絡網を作り、教育委員会から送られる不審者情報や流行の病気などの情報を送り、子どもに関する情報を提供しています。

- ブログで毎月の開催予定や変更時のお知らせ、イベントに関するお知らせなどを配信しています。
- 他の地域の交流会や勉強会に参加し、会の向上や情報収集に努めています。

地域の社会資源の活用

- トレセン内の施設のため、使用料がかからなく誰もが利用できる施設を活用（体育館）しています。
- 使用料がかからない児童館を利用しています。

他のサロンにはない特徴

- イベントを充実させている。0歳児向けのベビーマッサージ、ベビ体操から親子バスハイク、季節の行事など、どの月齢の子どもも参加できるように工夫。体育館（現在使用不可）という中で、天気を気にせず思い切り遊べるのが人気です。



委員からの一言コメント

お伺いした日はちょうどクリスマスパーティ。美浦トレセンの広い体育館の中で子供たちがはしゃぎ回り、お母さんたちの笑顔があふれていました。美浦村の中島村長さんも駆けつけて下さり、サンタさんの衣

装をまもって子どもたちにプレゼントを渡してくれました。トレっこルームは毎週金曜日に開催され、イベントも毎月開催するなどとても活発なサロンです。子育てだけでなく、資源回収や地域の情報交換にも役立っているとのこと。役員のリリーダシップのもとで、参加者みんなが楽しんでいる姿が印象的でした。

（多木洋一 委員）